



12月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



温かなかわりのなかで育まれる「言葉」

園長 立石 晃子

晩秋を迎え、いよいよ木の枝にあった葉が少なくなってきました。体を動かすことが巧みになり園内外で元気いっぱい遊ぶようになった年少組の子供たち。すぐに「おなかすいた。」という声が聞かれます。弁当の時間はとても楽しみで、全部食べることができることが嬉しい様子です。からっぽになった弁当箱を担任に見せるだけでなく、弁当箱を背中に回して隠しながら、職員室にいる私のところにも赴き、じゃじゃーんといったふうに見せ、「全部食べました。」と報告しに来てくれています。他の学年も弁当の時間にのぞきにいくと、「今日は が入っているんだよ。」「もう 個食べたよ。」と嬉しそうに自分の弁当を解説してくれます。毎日、保護者の方の愛情を感じながら弁当を食べることができる子供たちは幸せ者です。

就学時健診を終え、少しずつ就学への期待を膨らませている年長組の子供たちですが、11月は、感染拡大防止対策を講じながら近隣の小学校の児童や先生方との交流の機会をいただきました。小学校の児童の皆さんからは、どんぐりを使った遊びを教えてもらったり、絵本を読み聞かせてもらったりしました。また、校長先生や副校長先生からは、学校の施設や授業を分かりやすく説明していただいたり、優しく質問に答えていただいたりしました。機会を重ねる中で、私は、子供たちの「質問力」が研ぎ澄まされていくことに気が付きました。児童の皆さんや校長先生、副校長先生方が温かく幼児を受け止めやりとりをしてくださったことで、見るポイントや質問のポイントが掴めるようになり、徐々に質問が増え、小学校というところの核心をつくような質問に変わっていったのです。

幼稚園教育は幼児の発達の側面から「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域を編成しています。その中の一つである「言葉」について、幼稚園教育要領解説には、「幼児は気持ちを自分なりの言葉で表現したとき、それに相手がうなずいたり、言葉で応答してもらうと楽しくなり、もっと話そうとする。教師は、幼児が言葉で伝えたいような経験を重ね、その経験したことや考えたことを自分なりに話すこと、また友達や教師の話を聞くことなどを通じ、言葉を使って表現する意欲や、相手の話を聞こうとする態度を育てることが大切である。また、幼児のものの見方や考え方も、そのように言葉によって伝え合う中で確かなものになっていく。」と記されています。まさに今回、校長先生、副校長先生、児童の皆さんに優しく応答していただいたことが、幼児の言葉の発達につながりました。ご協力ありがとうございました。

お知らせとお願い

- ・今季、冬季休業中の施設開放を行いません。ご了承ください。
- ・12月29日～1月3日の間、ウサギのバニラのお世話をしてくださる方を募集します。是非バニラのお父さんお母さんになっていただけませんか？

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

外遊び大好き！！もっともっと一緒に遊びたい！

11月は遠足や焼き芋会等、初めての行事を経験した子供たち。足立区生物園へのバス遠足は、始めは少し緊張気味でしたが、生物園に着いて、様々な生き物を見つけると大喜び。翌日も「また遠足行きたいね。」と話したり、友達とバスを作って「生物園行きです！」とバスごっこが始まったりと、楽しかった気持ちを言葉や遊びの中で表現していたもも組の子供たちです。

天気の良い日も多く、園庭でもたくさん遊びました。鬼ごっこをしたり、みんなでつながって滑り台を滑ったり、芝生に寝転がってみたり、裸足で砂遊びをしたり…。その中で「気持ちいいね。」「こっちの砂は冷たいよ。」「このタイヤは熱いね。」とたくさんのご発見！教師や友達と一緒に遊ぶこと、発見したりすることが益々楽しくなっています。

12月も楽しいことがいっぱい。一つ一つの経験を大事にしながら、子供たちが笑顔で今年を締めくくれるようにしていきます。

< 4 歳たんぽぽ組 >

みんなと一緒にだと、楽しいね！片付けだって頑張れるよ！

寒くなってきても、毎日のように「オオカミと子ブタの鬼ごっこ」を楽しんでいるたんぽぽ組です。みんなで行う活動を繰り返し楽しんでいくことで学級のつながりが深まり、「みんなで遊ぶと楽しい。」と思えるようになってきました。砂場全体を使い学級のみんなで山や川を作ったり、中型積み木で場を作り、数人で始めたおうちごっこにみんなが集まり、大型バーベキューレストランに変わったりして遊んでいます。この日もたくさん道具を出して遊んでいましたが、なぜかとても早く片付けが終わりました。みんなに聞いてみたところ「みんなで一緒に片付けたからだよ。」「頑張ったよね。」「そうか、みんなと一緒にだからできたんだ！」と、自分たちで協力して頑張れたことに達成感を感じたようです。様々な活動に意欲的に取り組み、自信につながっているたんぽぽ組。12月も自分たちでできた！頑張れた！と思えるような活動を行っていきます。

< 5 歳ばら組 >

だんだんお話が出来上がり、楽しくなってきた！劇遊び、頑張るぞ！

11月はアートの日や、焼き芋会など、芸術の秋や食欲の秋を感じる楽しい行事がたくさんありました。また子供たちはニコットタイムにも取り組み、友達の動きを見ながら自分なりに体の動かし方を意識して活動に参加しました。園庭では、11月とは思えない温かさの中、子供たちは友達と誘い合い、自分たちで遊びの場を準備しながら、思い切り体を動かすことを楽しんでいます。

今は、劇遊びの会に向けて、学級で話し合いを重ねる中で自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら劇遊びに取り組んでいます。また、自分の出番以外の必要な役割についても考え、音響係など裏方の仕事も自分たちで行おうと話合っています。自分の役や裏方の仕事、全てを自分たちで行う中で、みんなで作り上げている一体感や、より強い学級のつながりを感じてほしいと思います。劇遊びの会当日に向けて、共通の目的に向かって役割を意識し、力を合わせることで達成感や充実感が味わえるよう援助します。